

今週のモーニングセミナー報告

令和4年10月5日(水)の講話 <第912回>

テーマ：香川の子供たちの現状 子ども食堂を通して見えてきたこと。

講師：香川県高松市倫理法人会 会員 一般社団法人かねとうみらい塾 代表理事 金藤友香理 様

今年6月に高松市倫理法人会に入会。7年前に民間で初めて子ども食堂を始めました。主人には離婚もせずよくやらしてもらっていると感謝しています。平成25年に毒出しマイスターとして。22歳の時独学で、パン屋を開設。(小麦の関係で)アナフィラキシーショック。生死を彷徨う体験を何度も、重篤なアレルギー、ほとんど呼吸ができない。ショック状態で苦しい時、人の顔ばかり思い浮かびました。人生は一度しかない、姑の看取りもしたので、黄泉の国から帰ってきた経験。光に包まれて帰ってきた。最後に残る力は聴力です、感謝の言葉を言ってあげてください。名前を呼んであげてください。帰ってくる人がいます。4年ほど料理教室、小麦を使うと毒です。白砂糖を多く摂取するとAGES(糖化残存物質)低体温⇒低酸素・老化。呼吸しているものを摂取する。死んだ物は食べない。それが呼吸の源。30代で結婚して妊娠。双子の子供。妊娠7か月中に胎児一人が死亡。生き残った子供に障害が残る。右半身脳性小児まひ。子育て支援・子ども食堂・赤ちゃんの補助：里親制度。三か月の赤ちゃんを50歳の時預かる。ご飯を提供するだけでなく子供とその家族の心の居場所を支援する。男の子を育てる大変さ。本能の感覚を大切に育てて。短期里親制度があり研修に行く。香川県での実情など子育て支援を必要とする家族の紹介。最後に将来の夢はマザーテレサのように、「大切なのはどれだけたくさんしたかではなく、どれだけ心を込めたかです」画像を映しながら最後まで熱意のある御講話でした。

担当者：赤山 芳隆

アレルギー症状からの闘病生活、和食のすばらしさを伝えるための中国での料理教室の開催。子供食堂を開設して、香川県での食事もきちんとできていない子供がいたりする事などがある話をされました。ひとり親の子供、転勤族で知人親戚がいない家族の子育ての大変さ、1人で子育てをして疲れているお母さん、子供たちを取り巻く環境をどうにかしなくてはいけないという気持ちからの現在の活動を話されました。金藤さんの行動力から私や会場に来たみなさんに伝わったと思います。またどこからそんなパワーが出てくるのだろうと驚きもありました。学校で行われているいじめの相談も受け付けたり、里親の事も話されました。夢はマザーテレサになると話されました。私も3人の子供の親として考えさせられることも多く、勉強になりました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは10月12日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「人生一度きり」と行動したら全てが人との出会いにつながっていた」と題しましてぶり〜ずWORK 坂本麻美様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 19社 19名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp